

■豊島区生涯学習推進協議会 これまでの経過

- 平成 17 年 4 月 文化行政の一元化により教育委員会にあった生涯学習・社会教育部門が区長部局に移管される。
- 平成 17 年 10 月～ 第一期生涯学習推進協議会
平成 19 年 9 月 →「豊島区生涯学習センター設置に関する意見書」を区長に提出した。
閉校施設であるみらい館大明を改修して、「つどう・つながる・つなげる・つくりだす」場所として生涯学習センターを整備する方向性が示された。
- 平成 19 年 10 月～ 第二期生涯学習推進協議会
平成 21 年 9 月 第二次生涯学習推進計画の策定について
→平成 22 年生涯学習センター開設に向けて活発に議論していたが、財政上の理由により 2 年延伸されることが平成 21 年 2 月に決定された。
- 平成 22 年 10 月 第二期生涯学習推進協議会と並行して、**豊島区生涯学習推進計画策定**（計画期間：平成 22 年度から平成 31 年度の 10 年）＊平成 19 年の意見書がこの計画の軸
○区民が主体となって築く「学びの循環（わ）」を実現するための指針。「個の学びから社会的な学習活動への転換」の代表的な事業として、平成 19 年度からスタートした「としまコミュニティ大学事業」の「としま学（後のマナビトコース）」を構想。
- 平成 21 年 10 月～ 第三期生涯学習推進協議会
平成 23 年 9 月 ①生涯学習センターのあり方と②青年層向けプログラムの開発を検討
→生涯学習センターの運営方法についてまとめた。
○NPO との協働により、共に考え模索しながら育てていく生涯学習センターづくりをめざし、若者支援事業をはじめ、ソフト事業を積み上げていくことで生涯学習センターとしての機能を具体化し、強化していく方向性が出された。
- 平成 24 年 4 月～ 第四期生涯学習推進協議会
平成 26 年 3 月 生涯学習センター機能の具現化に向けて
→生涯学習センターにおいて実施する具体的な事業を提案・整理した。
- 平成 26 年 10 月～ 第五期生涯学習推進協議会
平成 29 年 11 月 「つどう、つながる、つなげる、つくりだす」豊島区生涯学習センター機能の実現に向けての意見書を区長へ提出した。
「生涯学習センター事業」として発信できる土台を整えるため、学習・スポーツ課にあった学びに関する事業を持つ 3 グループを 1 つのグループに再編・統合。
また、小さな学びのコミュニティを積み上げ、トライ＆エラーを繰り返しながら、豊かな個の学びを社会的な学習へ転換していくための仕組み豊島区生涯学習センター「としま学びスタイル研究所」を提案した。
さらに、次期生涯学習推進計画の策定に向けて、区民の学びを支援する生涯学習施設の役割を調査するためのワーキンググループを立ち上げ、プレで「みらい館大明」の聞き取り調査を行なった。
- 平成 30 年 12 月 第六期生涯学習推進協議会
～令和 2 年 12 月 「豊島区におけるこれからの『都市型生涯学習』の在り方について」諮問
社会変化に対応し、国際・アートカルチャー都市を実現していくために、「都市型」の生涯学習がどうあるべきなのか、区民の学びを支援する「支援者」を支援していく仕組みをどうつくるべきなのかについて諮問し、答申として生涯学習の新しいビジョンを策定した。